

## 3.

## 中国錦州 「化石から山口県美祢を思う」

kinsyuprint.htm by M.Nakanishi 2000.11.1.



遼寧省 錦州市



山海関万里の長城の端

10月15日から数日仕事で中国北京から遼寧省錦州へ行ってきました。

約1.5年ほど全く海外とは縁切りになっていましたが、久しぶりに海外に出て、中国・中国華僑人と接し、その仕事振りにふれ、ほっとするというか 非常に気分的に楽になって帰ってきました。

今 中国では建築ラッシュというか 溶接材料も作っても作っても足りず、増設を重ねている上昇気流の会社を見てきました。



北京の中心街



2000.10.15.

中国の地方都市と多少は僕らの方が・・・と置いておりましたが、北京から高速道路が通じ、会社もコンピュータ管理されたうらやましい工場。もっとも品質はこれからですが、すぐ日本に追い付くでしょう。

中国のスケールと人の多さにもビッ

クリしましたが、中国も他のアジア諸国と同じく IT の先端に行くインフラ整備が着々となされていると感じてきました。

毎晩42度のアルコールの乾杯づけになったのには閉口しましたが、また 一つ別の世界を見ることが出来ました。また、錦州は化石の宝庫。みやげの一つ買いましたが、化石の街・美祢も考えては・・・中国はやっぱり休暇とってゆっくり歩きたいと思っています。

錦州は石油の街で人口90万の地方都市。取りたててなんにもないのですが、おみやげは5億年前の魚や虫など動物の化石。僕も一つ買って帰りましたが、それがきれいな箱に入って保証書もついています。それ以外みやげ品は酒程度。なんにもありません。

でも「化石」なんかは想像を逞しくすれば何でも語れるロマンの世界。

ながめていると古代の遺跡の真中に入る気分になれる。鉱石には癒しの効果があるとか 最近ブームと聞きました。化石もそうなのでしょう。

前にいた山口県的美祢でもアンモナイトはじめ、壮大な化石が出て「化石の街」といっていました。

美祢の化石も世界を語る化石なんだろうが、殆ど知られていませんし、ロマンをかきたてるみやげ品もなし。美祢にいる時にはすごいものと思っていたが・・・。

異質の人達集めて「化石の語るロマン」の会かなんかやったら面白いとおもうんですが・・・

それにうってつけの満天の星空が見える森も大理石・石炭の鉱物も街中を走る朝霧も近くにはあの秋芳洞もあるし。

博覧会より長期的にはよっぽど広がりが大きくなるとおもいますがいかがでしょうか・・・

青森の山内丸山遺跡に集まる人達にふっと頭がいき、その凄いエネルギーが青森を面白くしていると考えたと「化石」にもそんな power があるとそんな気がしてきました。



茨城県自然博物館も世界の大型化石を集めたおもしろい博物館。  
茨城県の北の外れ、千葉県野田市から利根川を渡った利根川の湿地帯 菅生沼と一体化した自然公園博物館である。

菅 沼 茨城県立自然博物館

化石だけの展示ではないのですが、地球創造からの歴史をわかりやすく、楽しめるように展示。その中心は恐竜化石。こんな化石の展示の仕方もあるのかとビックリ。面白かったです。博物館が建つ丘陵の森と菅生沼を野外の自然パーク。1日自然の中でゆっくり楽しめる博物館として関東ではお奨めの博物館。ちょっと交通の便が悪が難点。



茨城県立自然博物館と展示化石

最近現在の日本人の考え方に少なからず疑問を持っています。誰かにまかせて 路線を引いて、それが成功すると みんな同じ路線。異質は排除。それがメイン。

もっと多方面から自然発生的に発生した異質集団が集まって行き、ひとつの流れをつくって行く市民運動的発想がメインの発想として用いられても良いのではないのでしょうか...

歯止めの効かぬ集団となった日本 画一的な日本。「異質が本当は中心」とは考えられないか.....

グローバルな基準 もそんな中から揉まれ淘汰され、生まれてきたとしたら うまく組み込んで行く事こそ大事。

中国 錦州へ行き 多くの中国や中国華僑のビジネスマン エンジニアと接しそんな事感じています。

バラバラの雑文です。

中国出張から帰って 2000.11.1. by M.Nakanishi